

4 将来都市像実現に向けた 目標においてめざす姿

将来都市像実現に向けた目標

1

いつまでも
みんなが
元気でいられる
まち

施策分野 1-1	健康づくり・健康増進	42
施策分野 1-2	医療	45
施策分野 1-3	スポーツ・運動	47
施策分野 1-4	生涯学習	49
施策分野 1-5	文化・芸術	51

施策分野 1-1

健康づくり・ 健康増進



現状と課題

- 人生100年時代において、健康寿命を延ばし、健康格差を縮小するためには、市民一人ひとりが、ライフステージを踏まえ自ら健康づくりを行うことや、疾病予防、介護予防に取り組むとともに、未病※の段階で対策することを意識して生活することが大切です。
- 要介護状態の予防や医療費抑制のためには、市民が生活習慣病や、フレイル※の予防に取り組むことが重要です。
- 喫煙はがんや脳血管疾患等に共通したリスク要因であるため、禁煙等に向けた喫煙者への支援とともに、望まないたばこの被害から市民の健康を守る受動喫煙防止の取り組みが必要です。
- 高齢の方が健康的な暮らしを持続するためには、生きがいや人とのつながりを持つことが重要です。
- 新型コロナウイルスやインフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染症について、普段の暮らしの中で罹患しないように市民一人ひとりが予防に取り組むことが重要です。また、新たな感染症などが発見された場合には、迅速な対応が求められます。
- 全国的に毎年多くの方が自殺により亡くなっており、行政、地域、事業者等が共にかけがえのない命を守る対策を推し進める必要があります。
- ひきこもりの状態にある人は、若年層に多いものと捉えられていましたが、近年では、中高年を含む幅広い年代にみられ、全国的な課題となっています。

※未病…発病には至らないものの、健康な状態から離れつつある状態のことです。

※フレイル…歳をとって、筋力や認知機能、社会的つながりを含む心身の機能が低下した状態のことです。

施策の方針

- 市民が自らの健康状態を把握し、適度な運動、バランスの良い食生活、十分な睡眠などを心がけて生活できる環境を整備します。
- 生活習慣病の発症や重症化予防など、生活習慣病対策を推進します。
- 介護予防に関する普及啓発や取り組みを推進します。
- 食育を推進するとともに歯と口腔の健康づくりに取り組み、疾病予防や重症化予防を図ります。
- 喫煙が及ぼす健康被害の啓発や禁煙に関する相談などを通じてたばこをやめたい人を支援します。また、望まない受動喫煙が生じないように、受動喫煙防止の取り組みを進めます。
- 高齢の方の生きがいづくりや自己実現などに関するニーズに応える取り組みを進めます。
- 各種健康診査やがん検診の分かりやすい情報の発信、意識啓発等に努めます。
- 感染症対策として、正しい知識等の啓発とともに、予防接種を実施します。
- 自殺対策を進めるとともに、地域や職場などの様々な場所でこころの健康づくりに取り組めるように支援します。
- こもりびと^{*}当事者やその家族に対する周囲の理解の醸成を図るとともに、当事者が社会と関わりを持ちたいと思ったときに適切な支援を提供できるようにします。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 1-1-1

一人ひとりに健康づくりが定着し、 元気で暮らしている

主な取り組み

- 健康づくりの普及啓発、活動支援
- 自然に健康になれる環境づくり
- 高齢の方の生きがいづくり・健康づくりの機会創出
- 保健指導の実施

成果指標		現状	目標
自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合		52.1%	向上
高齢の方が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合		43.7%	向上
健康寿命（平均自立期間）と平均寿命の差	男	1.80年	縮小
	女	3.67年	縮小
介護予防セミナー受講者数		1,187人	1,270人
シルバー人材センター会員数		924人	981人

めざす姿 1-1-2

心身の健康を維持・増進するための 体制が整っている

主な取り組み

- 各種健康診査の実施
- 感染症対策の実施
- 自殺対策の実施
- こころの健康づくり施策の実施
- こもりびとの支援

成果指標	現状	目標
心身の健康の維持・増進をサポートする環境が整っていると思う市民の割合	32.4%	向上
肺がん検診受診率	25.6%	27.4%
特定健康診査の受診率	31.0%	40.0%
肺炎等による死亡率（人口10万人あたりの死亡者数）	101.2人	95.2人
自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）	13.2人	毎年13.6人

^{*}こもりびと…大和市では、一人ひとりに寄り添いたいとの思いから、「ひきこもり」ではなく、より温かみのある「こもりびと」という呼称を使用しています。

関連する個別計画

- 大和市食育推進計画
- 大和市歯及び口腔の健康づくり推進計画
- 大和市国民健康保険データヘルス計画・特定健康診査等実施計画
- 大和市新型インフルエンザ等対策行動計画
- やまと自殺総合対策計画
- 大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画



施策分野 1-2 医療

現状と課題

- 医療需要は高齢化の進展に伴い増加が見込まれます。医療・介護連携を促進し、誰もがいつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるよう、在宅医療の推進、役割に応じた医療機関の受診の促進など適切な医療提供体制の構築に取り組む必要があります。
- 市民が救急医療を必要とする時に受診できるよう、休日夜間の医療提供体制を維持することが必要です。
- 市内の複数の病院で対応している二次救急※においては、改善の傾向はあるものの、依然として軽症患者の受診率が高い状況にあります。医療資源が限られる中、中度、重度の患者へ適切な診療を行えるよう適切な医療機関の選択を市民に促す必要があります。
- 市立病院は、地域の基幹病院として地域医療を支え、維持していくとともに、良質かつ適切な医療を継続して提供する必要があります。

※二次救急…緊急の入院や手術が必要になるような病気やけがに対応する救急医療をいいます。

施策の方針

- 医療・介護連携や在宅医療を進めるとともに、医療機関の役割を理解したうえでの受診の啓発など適切かつ効率的な医療提供体制を構築します。
- 休日夜間急患診療所の運営及び市内各病院の輪番制*により、休日夜間における救急医療を実施します。
- 病気やけがの程度に応じた救急医療への適正受診を啓発します。
- 市立病院において、急性期医療や救急医療、小児救急医療及び周産期医療の提供及び新興感染症等に対応できる体制を整備します。また、地域医療支援病院*として地域の医療機関との連携を強化し、地域医療の確保を図ります。
- 市立病院の安定した経営を行います。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 1-2-1

市民がいざというときに 診療を受けられる体制が整っている

主な取り組み

- 休日や夜間における救急医療体制の確保
- 在宅医療と介護の一体的提供の促進
- 適正な受診に向けた医療機関の役割の周知や健康相談の実施

成果指標	現状	目標
いざというときの診療体制が整っていると思う市民の割合	43.0%	向上
休日夜間急患診療所（一次救急）の年間患者取扱件数	11,536件	毎年度13,000件
二次救急での中度・重度患者の割合	23.5%	27.1%

めざす姿 1-2-2

市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている

主な取り組み

- 良質かつ適切な医療提供
- 地域の病院や診療所との連携強化

成果指標	現状	目標
地域の診療所等から市立病院に紹介された患者の割合（紹介率）	78.8%	80.0%
市立病院から地域の診療所等に紹介した患者の割合（逆紹介率）	79.2%	80.0%
患者満足度調査における満足度の割合	83.6%	90.0%
がん患者受入数（延べ）	36,381人	39,546人
市立病院における救急車受入件数	4,871件	5,669件

関連する個別計画

- 大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
- 大和市立病院経営計画

*市内各病院の輪番制…市立病院を含む市内の病院が、休日や夜間において、緊急性の高く、入院治療等が必要な内科系疾患患者を輪番で診療しています。
 *地域医療支援病院…患者に身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を行い、かかりつけ医等への支援を通じて地域医療の確保を図る病院のことです。

施策分野 1-3 スポーツ・ 運動



現状と課題

- 現代社会では、日ごろの多忙さなどにより、自身が体を動かすことも含め、スポーツに触れることの優先順位が低くなりがちです。
- スポーツは、心と体の健康づくりのほか、生きがいづくりにもつながることから、高齢化が進む現代において、その重要性が増しています。
- スポーツの楽しさや爽快感は私たちの心にうるおいをもたらすほか、プレーする人のみならず、同じスポーツに関わる人たちの間で培われる連帯感や達成感は青少年の健全育成や世代間交流の促進にも寄与するなど、スポーツは人々のつながりを深めることにも効果的です。

施策の方針

- より多くの市民がスポーツに気軽に取り組み、また、様々な形で参加できることを重視しながら、地域のスポーツ活動を推進します。
- スポーツ施設を安全に利用できるよう、日常的なメンテナンスとともに、計画的な修繕を実施します。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 1-3-1

スポーツに関わる人が増えている

主な取り組み

- 「する」、「みる」、「ささえる」、「つながる」それぞれの観点からのスポーツや運動を楽しめる機会の提供
- スポーツ施設の維持管理
- スポーツ選手や団体の活動支援

成果指標	現状	目標
スポーツ活動（する、みる、ささえる）に親しんでいる市民の割合	38.0%	向上
市民1人あたりの公共スポーツ施設年間利用回数	4.98回	5.29回
年1回以上直接会場でスポーツを観戦した市民の割合	21.6%	37.3%
スポーツに関わるボランティア活動を経験したことがある市民の割合	11.2%	19.9%
女子サッカーイベント参加者数	7,511人	9,360人
総合型地域スポーツクラブを知っている市民の割合	14.0%	18.3%

関連する個別計画

- 大和市スポーツ推進計画

施策分野 1-4 生涯学習



現状と課題

- 自らの意思で自由に学び、知識や技術を身に付けていくことは、豊かな人生に欠かせません。
- 仕事や日常生活において社会の変化に対応していくため、また、健康寿命の延伸に伴い、自身の活動の幅を広げるため、文化活動、スポーツ活動、読書活動、ボランティア活動など「生きがい」にも通じる生涯学習のニーズが一層高まっています。
- 最近では、仕事に生かすための知識やスキルを学びリカレント教育（学び直し）も注目されています。

施策の方針

- 新しい技術や知識の習得に加え、余暇の有効活用や新たなコミュニケーションづくりなどの手段となるよう、あらゆる世代の生涯学習を支援します。
- 図書館を中心とした読書に関する施策を推進します。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 1-4-1

学びに携わる人が増えている

主な取り組み

- 読書を含む学ぶ機会の提供
- 学びを支える人材及び団体に関する育成と支援
- 学習センター、図書館の管理運営

成果指標	現状	目標
生涯学習活動を行っている市民の割合	25.0%	向上
市民1人あたりの年間図書貸出冊数	5.51冊	5.96冊
学習団体の登録数	1,552団体	1,631団体

関連する個別計画

- 大和市生涯学習推進計画
- 大和市子ども読書活動推進計画

施策分野 1-5

文化・芸術



現状と課題

- 文化芸術は、人々の創造性を高め、感動や安らぎを与えるとともに、私たちの暮らしにうるおいをもたらします。それは、生きる喜びや、いつまでもはつらつと元気に生活するための力にもなり得るものです。
- 大和の文化を形づくる活発な文化芸術活動は、まちの魅力を高め、市民の地域への愛着を深めます。
- 文化芸術と、教育、国際交流、まちづくりなど、他の分野との相互の関連性を生かした横断的な取り組みの実施は、相乗効果が期待されます。
- 少子高齢化の進展とともに、文化芸術、地域文化の担い手が減少しています。
- 地域の歴史や文化財への理解を深めることは、市民の郷土意識の高揚につながります。

施策の方針

- 市民による、自発的、主体的な文化芸術活動を促進するための環境づくりを行います。
- 文化芸術と他分野の連携、展開を推進します。
- 文化芸術の担い手の増加につながる取り組みを推進します。
- 地域の歴史や文化財の継承を支援します。

めざす姿と主な取り組み

めざす姿 1-5-1

文化や芸術に親しむ人が増えている

主な取り組み

- 市民による文化芸術活動の促進
- 文化芸術に触れる機会の提供
- 文化芸術の担い手に関する育成と支援
- 文化芸術活動と他行政分野との連携

成果指標	現状	目標
文化や芸術活動に親しんでいる市民の割合	27.7%	向上
芸術文化ホール年間利用者数	209,782人	306,000人
YAMATO ART100 参加イベント数	128 イベント	毎年度 100イベント

めざす姿 1-5-2

郷土の文化がしっかりと 引き継がれている

主な取り組み

- 地域の文化財の保護
- 地域の文化財の普及啓発

成果指標	現状	目標
大和の歴史や文化財は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	17.7%	向上
歴史文化施設の利用者数	37,025人	50,280人

関連する個別計画

- 大和市文化芸術振興基本計画